

道営住宅における自治会支援について

道営住宅における入居者の高齢化の進行に伴い、自治会運営の停滞が懸念されることから、**自治会支援に向けた新たな取組を検討**する。

団地自治会活動に係る現状と課題

- 1 入居者の高齢化に伴う自治会役員の担い手不足や自治会費の徴収が困難といった団地自治会からの意見や北海道議会において道営住宅における自治会支援について議論。

【R4. 9. 26 令和4年第3回北海道議会】

丸岩議員への答弁概要

若年層の入居やコミュニティの活性化を促す新たな取組について、有識者の方々から意見を伺うとともに、誰もが安心して暮らせる地域社会の形成に努める。

- 2 道では、子育て世帯などの優先入居など世代間バランスに配慮した公募を行っているが、道営住宅における高齢者世帯は4割を超えており、自治会運営に対する支援が求められている。

道営住宅の自治会支援に向けたモデル事業を展開

道営住宅の目的外使用による施策展開

札幌市や地域で活動する団体などへ、地域活性化のアドバイス等をいただくとともに、**大学などが立地し、高齢者のみならず幅広い年齢層の入居ニーズが見込まれる地域の中からモデル地区を選定、地域に所在する団体と連携し、自治会活動への参加が見込まれる方を「目的外使用」により入居。**

【道営住宅整備活用方針】

3 整備及び活用の方法

4) 既存住宅の活用

地域のコミュニティの活性化や住環境の向上などに寄与すると認められる住宅は、目的外使用による活用を検討する。

【取組における各主体の役割】

入居する方	地域所在団体	道住宅課
<ul style="list-style-type: none"> ○自治会活動への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会費の徴収 ・祭りや行事参加 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○道営住宅提供のお知らせなど ○入居する方や自治会に対する相談などのサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的外使用住戸の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・EV未設置棟の上層階

札幌市営住宅などの事例

- 札幌市は北星学園大学、札幌学院大学と協定を結び、市営住宅（厚別区もみじ台団地）の空き住宅を活用し、清掃活動やお祭りの手伝いなど、自治体活動への参加を条件に、市営住宅を有償で学生に提供する取組を実施。
- 神奈川県、富山県等においても、同様の事例がある。

